



大切なのは、ひと、自然、平和

まつぎき

松崎 ゆり子



大野城市議会議員 議会便り

2017年春夏 Vol. 7

3月議会 松崎ゆり子の一般質問

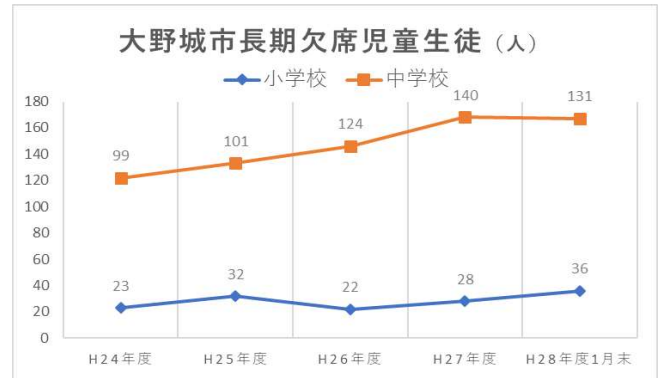
不登校生への訪問支援や居場所づくり、フリースクール型南教室の早期開設を要望

本市の不登校の現状…中学校の不登校率は、4.1%と高率(H26年度県 3.1%、国 2.8%)。人数ではH25に100人を超え毎年20人ほど増えている。小学校ではH26年度22人に減少、H27年度は28人、28年度は1月末で36人増加傾向にある。(グラフ参照)。

市は、「教育サポートセンター、北コミと各中学校の適応指導教室を中心に取り組んでいる。新年度からは小学校の学力支援員、中学校区の不登校担当教員、スクールソーシャルワーカーを増員し、小中連携や訪問支援の充実を予定している。」と回答。

子ども保護者も追い込まれないために…親の会等の支援や研修・啓発を要望したところ、「新着任教員への研修を予定。学校運営協議会等のテーマに取り上げたい。民間団体とも情報共有・連携したい」と回答。

フリースクール型南教室の開設を…市は、大阪府と福岡市のフリースクールを視察し、支援内容を高く評価。本市の開設には場所の確保や運営体制など課題があり検討中と回答。早期開設を要望しました。



「教育機会確保法」を活かし、多様な居場所を

昨年12月、フリースクール全国ネットワーク等が長年求めてきた、「不登校児童生徒に対する教育機会の確保等」を軸とする、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(略『教育機会確保法』)」が成立しました。

「子どもの権利条約」の趣旨にのっとり、「教育の権利」とともに「休養の必要」も確認。フリースクールなど「学校以外の場における学習活動等を行う不登校児童・生徒に対する支援(13条)」として、通学生の継続的把握や財政的支援等が明記されています。

*不登校とは、年間30日以上欠席した者。病気等を除く(文科省)

2017年度一般会計予算は350億7千万円、過去最高です

- ◆大野南小学校：空調と体育館多目的トイレが整備されます
- ◆大城小は増築、大利小、平野小、大野中は大規模改修が進みます
- 新) 保育の受け皿拡大へ認定こども園整備 (H29は大野幼稚園)
- 新) ひとり親家庭の生活や就労の相談支援する社会福祉士の配置
- 新) 地域の高齢者等が訪問型サービスを担う目的の養成研修事業(50.9万円)
- 拡) 4地区の在宅介護支援センターにケアマネージャーを追加配置(7千万円)
- 新) 就労移行支援サービスへ通所の障がい者へ交通費の助成
- 拡) 生活困窮者への自立相談、住居確保給付金に加え、家計相談を追加
- 新) 災害時情報伝達改善の調査設計(1100万円)、災害対策基金の設置(3億円)
- 新) 災害廃棄物を迅速かつ適正に処理するための計画を策定する(286万円)
- 新) 北コミの天体観測ドームや望遠鏡等を広報し活用を図る(414万円)

